

令和3年度 事業報告書

令和3年4月1日から令和4年3月31日

特定非営利活動法人親子の未来を支える会

1 事業の成果

学校における高度な医療的ケアを担う看護師ネットワーク構築事業の集大成として、複数の自治体からの支援受託や、支援ガイドの作成を行なった。「胎児ホットライン」における相談事業を開始した。22q11.2 欠失症候群に関する就学ガイド作成や交流会を行なった。

すべての人が安心して豊かな社会生活ができるような社会作りを目標に、より多くの人々が当法人の支援を得られるようになった一年であった。

2 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定 日時	実施場所	従事者 の人数	受益対象者の範囲 及び人数
(1) 胎児診断・障がいに関する情報提供・情報収集事業	不安を抱える家族向けの新たなブックレット（お父さん向け、きょうだい向け、祖父母向け、すべての妊婦向け）を作成し、配布を開始した。	通年	新聞・Webメディア・国内外の医療機関・教育機関など	30名	一般市民、障がい者、障がい者家族、医療者、胎児医療に関わる医師、看護師等 100人/月
(2) 障がいに関するカウンセリング事業	オンラインピアサポートシステムの運営、胎児ホットラインウェブ相談 自治体母子保健科等における相談事業従事者への講習会	通年	インターネット上、電話相談、また適宜状況に応じて出張	1000名	一般市民、妊婦、これから生まれる子供たち、胎児医療に関わる医師、看護師等 50人/月
(3) 胎児医療・障がい者医療に関するサポート事業	医療的ケア児の支援・勉強会の開催、22q11.2 欠失症候群患者家族の交流会・勉強会開催などを行った。日本コーエン症候群協会の活動を支援し、情報冊子の作成に関わった。	通年	学校、インターネット上、電話相談、また適宜状況に応じて出張	30名	一般市民、妊婦、これから生まれる子供たち、胎児医療に関わる医師、看護師等 10人/月